

サレタリ、斯元祿四年ニ至リ、山川金右衛門奉ハリ、更ニ分割シテ津久井縣ト稱ス、今ニ至テ然リ、  
尙委シクハ、高座愛甲二郡津久、又豆相ノ國界、正保ノ改定ニハ、足柄下郡西方、峯通リヲ國界トス、  
井縣ノ總說併セテ識ルベシ、然ルニ元祿十一年、爭論アリシカバ、同十三年、糺決アリテ、峯通ヨリ此方、門川ノ中流ヲ限テ、國界  
ト定ラル、事ハ足柄下郡土肥宮上、又駿相ノ國界モ、茲年改定アリ、舊ハ足柄上郡西方、足柄峠峯通  
リ、國界タリシガ、此時峯ヨリ此方十町餘ヲ下リテ、二州ノ界トス、今ニ至テ然リ、

〔日本地誌提要十七沿革相模〕

古ヘ國府ヲ大住郡ニ置府址未詳、今淘綾郡本郷村アリ、源賴朝ノ興ル、府ヲ鎌倉

ニ開キ、總追捕使トナリ、兵馬ノ權ヲ握リ、本州及伊豆、駿河、武藏、上總、下總、信濃、越後、豐後、九國ヲ

以テ、其管國トス、文治中、後白河法皇特旨ヲ以テ、本州ヲ賴朝ニ賜ヒ、世襲セシム、建久三年、征夷

大將軍ニ拜ス、賴朝ノ後二世ニシテ嗣絶ユ、其臣北條氏、世執權トナリ、州守ニ任ジ、將軍ヲ廢立

スル者六世藤原賴經父子及親王四世、元弘三年、後醍醐天皇北條高時ヲ誅シ、建武元年、成良親王ヲ東國管

領ニ任ジ、足利直義ヲ執權トシ、鎌倉ニ鎮ス、明年、足利尊氏東下、遂ニ反シテ自ラ將軍ト稱シ、府

ヲ鎌倉ニ定メ、京師ヲ犯ス、子義詮ヲ留守トシテ八州ヲ控制セシム、正平ノ初、其弟基氏、代テ關

東管領トナリ、鎌倉ニ居リ、本州ヲ領ス、永享ノ末、基氏曾孫持氏ニ至リ、其執事上杉憲實ト隙ヲ

生ジ、遂ニ將軍、義教ニ滅サレ、山内ノ上杉清方、管領ノ事ヲ行ヒ、州事ヲ知ル、文安中、持氏ノ子成

氏再管領トナリ、舊怨ヲ修テ、憲實ノ子憲忠ヲ誅ス、其弟房顯自ラ管領ト稱シ、兵ヲ擧ゲテ之ト

抗ス、成氏連戰克クズシテ、下總古河ニ奔リ、山内氏遂ニ本州ヲ掠取ス、長享ノ初、扇谷ノ定正、山

内ノ顯定ト相攻メ、遂ニ其地ヲ取ル、山内ノ上杉ハ、憲顯ヨリ出、顯定ハ、其八世ノ孫ナリ、扇谷ノ

正ハ、後武藏川越ニ移ル、定正ハ、重顯七世ノ孫ナリ、既ニシテ北條長氏伊豆ニ興テ、小田原、藤賴、新井、三浦、諸城ヲ陷レ、上杉

氏ヲ逐ヒ、終ニ全州ヲ併吞シ、治ヲ小田原ニ定ム、相傳ル五世、天正十八年、豐臣氏東征、北條氏亡

ビ、德川氏關東ニ遷リ、大久保忠隣チカヲ小田原ニ移封ス、後稻葉氏之ニ代リ、貞享中、再大久保忠朝